



Title	彙報
Citation	北方言語研究, 9
Issue Date	2019-03-15
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/73716
Type	other
File Information	11_ihou.pdf



❧ 彙 報 ❧

日本北方言語学会 第1回研究会

日 時：2018年12月8日（土） 9日（日）
会 場：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 マルチメディア会議室（3F・304号室）
（〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1）

<第1日> 12月8日（土）

【講演】

津曲 敏郎（北海道大学名誉教授）
「コトダマから北をのぞむ」

【研究発表】

外賀 葵（京都大学大学院）
「ドンシャン語話者に見られる音交替・異音に関する一考察」
李 娜（富山大学大学院）
「中国語における日本語新借用語特定の最終段階：
年代別の辞書記載の有無と意味変化に着目して」
小野 洋平（放送大学大学院）
「アイヌ語諸方言の相互理解可能性について：服部・知里(1960)の再計算と視覚化」

【特別講演】

岸上 伸啓（人間文化研究機構・国立民族学博物館）
「環北太平洋沿岸地域の先住民文化に関する人類学的研究の歴史と現状」

【総 会】

日本北方言語学会設立にあたって

<第2日> 12月9日（日）

【研究発表】

奥田 統己（札幌学院大学）
「千歳地方の神謡の韻律：アイヌ語におけるアクセント志向の韻律の地域的広がり」
山崎 雅人（大阪市立大学）
「満洲語文語と日本語の場所と手段を表す格の機能について」
風間伸次郎（東京外国語大学）
「満洲語の音韻論の諸問題について：閉鎖音と摩擦音の音素の合流について」
渡辺 己（東京外国語大学AA研）
「セイリッシュ語形態論の問題点：語彙的接辞か否か」

日本北方言語学会 入 会 案 内

- ①年会費：当面徴収しない
- ②入会資格：北方言語研究に関心を持ち、本会の趣旨に賛同される方。ただし、北方言語に関する研究業績を2本以上公刊していること、あるいは、会員または指導教員等の推薦があること。
- ③活動内容
 - ・研究会および国際シンポジウム等の開催
 - ・学会誌『北方言語研究』の刊行（投稿は会員に限る）と会員への無償配布
 - ・本 HP および会員 ML による情報交換
- ④入会申込：以下について下記事務局あてにメールで通知（随時受付）
 - ・氏名
 - ・所属
 - ・送付物受領用住所
 - ・e メールアドレス
 - ・研究業績（2点）または推薦者（氏名/e メールアドレス）
- ⑤事務局：江畑冬生（新潟大学人文学部） hoppougengo-owner@googlegroups.com